

氏名	垂見 裕子 TARUMI Yuko
所属 職名	人間発達教育研究センター 特任助教
学位 専門分野	学術博士 比較教育
URL	
E-mail	tarumi.yuko@ocha.ac.jp

研究者キーワード / Keywords

格差
学力
家庭的背景
社会関係資本
養育

Inequity
Student Achievement
Family Background
Social Capital
Parenting

主要業績

Nonoyama-Tarumi, Y., "Prevalence and Determinants of Participation in Shadow Education in Four East Asian Societies", 比較教育学研究 第42号, pp. 63-82, 2011.

Nonoyama-Tarumi, Y. and Hamano, T., "The Impact of an international Training Program on Early Childhood Education in Central and West Africa: Comparison of 2010 and 2009 Training", Proceedings: Science of Human Development for Restructuring the "Gap Widening Society", 13, pp. 27-35, 2011.

Bornstein, M, Britto, P. R., Nonoyama-Tarumi, Y., Ota, Y., Petrovic, O. and Putnick, D. L., "Child Development in Developing Countries: Introduction and Methods", Child Development, 2011. (Forthcoming)

浜野隆・垂見裕子〔監訳〕、『EFAグローバルモニタリングレポート2011 隠れた危機?武力紛争と教育』, ユネスコ、2011年.

「社会関係資本と学力?家庭的背景との関係を中心に?」『第62回 日本教育社会学会大会』関西大学・2010年9月

研究内容 / Research Pursuits

1. 学力格差の国際比較 家庭背景と学力の関係は、学校が教育機会・教育システムを通して社会の平等化に寄与しているかという重要な指標である。国際比較学力調査を用いて、日本の学力格差の特徴はいかなるものか、またどのような教育制度で家庭背景による学力格差は緩和されるかを実証。2. 幼少期の養育環境の格差の国際比較 幼少期の養育環境は、子供の発達に長期的な影響を及ぼす。国際比較家計調査を用いて、幼少期の家庭における養育環境、親の養育活動に、発展途上国間で、更にそれぞれの国内で、どのような格差があるのかを実証。3. 社会関係資本と教育 少子化、共働き家庭、地域の人間関係の希薄化の中で、社会関係資本という概念が注目されている。Japan Education Longitudinal Study (JELS)の分析をとおして、親の社会関係資本が学力に及ぼす影響またその影響力が家庭的背景により異なることを実証。

1. Comparative research on inequity in educational achievement Using international comparative educational achievement data, I investigate the characteristics of inequity in student achievement in Japan, and institutional factors that modify inequity in

■ 教育内容 / Educational Pursuits

1. 人間発達科学論Ⅲ この授業では、以下のテーマを通して、格差を比較教育社会学の視点から学びます。(1) 社会的・教育的格差が再生産される構造や原因を解明するための社会学の理論、(2) 格差を国際比較教育の視点から分析するための枠組み・調査手法、(3) 教育格差の諸要因。授業を通して、社会および教育における格差を分析・理解するために必要な理論および国際比較の調査手法の基礎を習得することを目指します。2. 社会調査の設計と実施 この授業では、社会調査の設計・実施から最終報告までの手順と方法について、作業などを実際に行いながら学びます。第一部で、各自の問題意識を調査の問いへと変えていくための手続き、適切な調査方法を選択する仕方について学びます。第二部で、量的調査のプロセス(対象者の選定とサンプリングの考え方、調査票作成の技術、調査実施上の注意、収集した調査データの処理、調査結果報告の方法)を学びます。第三部で、質的調査の特徴と諸方法について学びます。

1. Science of Human Development III This course is intended as an introduction to the major theories, methods, and findings of comparative and international research on social and educational inequity. The first part will cover basic sociological theories

■ 研究計画

1. 国際比較学力調査を用いて、東アジアにおける家庭の学校外教育への投資の特性を研究。特に地域内の共通性と各国の固有性に注目する。またJELS調査をとおして、特に香港と日本の学校外投資の状況、規定要因、学年間の推移を比較する。2. 社会資本と教育 質的調査をとおして、以下の点を実証する。保護者の学校参加や子育てネットワークの場では、どのようなつながりが構築されているのか。そこでどのような資源が生成されているのか。親はそれらの資源を子どもの教育にどのように活用しているのか。さらに、親の社会関係資本の質やそれらの子どもの教育達成への影響力は家庭的背景により異なるか。

■ メッセージ

教育を、社会学と国際比較のレンズを通して見ると、日頃当たり前にとらえている学校の様々な現象、教育政策に対して、新しい発見、疑問が出てくると思います。大学では多くの理論とさまざまなアプローチを学び、考察、分析、実証する力を養ってください。